

執筆者紹介

服部英二	文学部教授
田村晃康	文学部助教授
細川眞	文学部講師
堀哲	文学部教授

あとがき

今回も執筆予定者が多く、やむなく枚数を制限しなければならなかった。編集子としては嬉しい悲鳴である。予算と枚数の睨めっこは編集に携わる者の宿命と言えようか。

英文学科は昨秋、文部省に大学院（修士）設置の申請をし受理された。これを機会に本誌の一層の向上発展が念願される。（細川）

行事

英文学講演会「トーマス・カーライルの現代的意義について」東海大学
教授工藤好美先生（昭和56年12月9日）

人事移動

退任	昭和56年3月	鶴谷壽教授
来任	昭和56年4月	梅津濟美教授
	同	大島巖助教授
	同	田村晃康助教授

昇任

昭和56年4月教授に昇任	小田真弘
同	福田権一
同	渡辺忠夫